

■ 建築とアスベスト問題 ■

今、ニュースで取り上げられ問題になっている「アスベストによる健康被害」。

そのアスベストの利用形態は、3000種以上あると言われています。

輸入されたアスベストの約93%が建築資材の原料となり、残りはその他の一般材料として使用されます。

アスベストが私達の生活にどれだけ関係があるか、そしてどう対処していくかをご紹介します。

どんな商品に使われているの？

■ 建築資材系 (断熱性、絶縁性、耐薬品性にも優れ腐食しにくい為多様な目的で使用されました)

- ・石綿スレート・石綿けい酸カルシウム板 (ケイカル板)・ビニールタイル・窯業系サイディング
- ・押出し成形セメント板・繊維強化セメント板 (フレキシブルボード) など、建築物の壁材、屋根材、外壁材や内装材に使用されています。(現在、ほとんどの資材はアスベストの使用をやめています。)

■ 産業用摩擦材等の繊維素材

- ・電線の被覆材・機械、器具の断熱材・ガasket・シーリング材やフィルター類
- ・自動車のブレーキライニングやクラッチなど産業用摩擦材等の繊維素材に使われています。
- ・トースターやヘヤードライヤーなどの電化製品の断熱材材料など。

■ アスベストの害は？

アスベストは非常に細かいので吸引すると肺の奥まで入ってしまう恐れがあります。アスベストの吸入に関連がある病気で重病となるものに石綿肺 (肺が堅くなり呼吸不全になる病気) 肺がん、悪性中皮腫などがあります。潜伏期間は10年~50年と長期に渡りその間は無症状なので早期発見は困難と言われます。以前は職業病として労働環境で起こる病気でしたが、現状アスベストは病院や学校、工場や倉庫にまで使われていることがわかっています。



木造住宅でアスベストが使われている可能性が高いのは外壁材、屋根材です。屋根材に使われる化粧石綿スレートや、壁材のサイディングはそのままでは飛散する心配はありません。

切ったり割ったり、暴風雨にさらされ劣化した場合に飛散する可能性があります。製品化されたのはセメント等で石綿が固定されていますので切断等の加工をしない限り影響を及ぼす事はありません。

○クッションフロアの張替リフォーム。

室内では床材のクッションフロア、ビニル系床材、接着剤等がアスベストが過去に使用されている事がわかりました。これらのものは樹脂に練りこまれているか、あるいはアスベストを含有しない表層の裏打ち材として使用されいたかのいずれかになります。

リフォームの際は、現況のクッションフロアをめくらず上から重ね貼りをする方法があります。

この方法であれば「万が一アスベストが飛散したら」の心配もありません。

現在では、クッションフロアもビニル系床材、接着材等にはアスベストは混入されていません。

○古くなった石綿スレート屋根のリフォーム。

石綿スレート屋根は5年毎に再塗装の必要があり、20年程で葺替えの時期を迎えます。雨や太陽光で屋根材が劣化している屋根の葺替え方法で「封印工法」というものがあります。

石綿スレート屋根の上に粘着性の特殊な防水シートを敷きその上を新しい金属屋根で覆う方法です。金属屋根はスレート屋根と違い、軽量で地震対策にも良く、メンテナンスフリーで最長30年の色あせ保証もありアスベストの飛散もしません。

「封印工法」は粘着防水シート施工費と金属屋根材施工費で約 8,100 円 / m²~になります。

私たちがご案内致します



春日井
笑顔と挨拶に厳しい
われらボス。



大竹
大きな声と返事が
特徴の元気な部長



熊谷
怖そうだけど実は
お茶目な次長。



清水
「誰かに似てる」って
言われやすい営業マン



高橋
キノケンのもじり。
若く見えても一見の父。



河本
現場監督なのに、白い
肌が美しい・・・



木下
おしゃれ大好き、ハス
キーボイスの新婚さん



潮見
キノケンの anego。
怒らすとコワイ・・・



中山
勤勉で努力家です。
キノケンの母さま。

Staff を
紹介します!

魅せるキッチン. 機能美のキッチン 実例

緑区S邸キッチンリフォーム

完成H17年8月12日

Reform data

工事内容

- ・既設の床・タイル壁の撤去工事
約¥80,000-
- ・既設流し台、食器棚の撤去
約¥135,000-
- ・壁・天井新規クロス貼
約¥70,000-
- ・床フローリング貼(下地共)
松下電工「オーマイティ」
約¥200,000-
- ・ヤマハキッチン(取付費含)
「dolce」シリーズ
約 ¥2,100,000-
- ・ヤマハ収納庫(取付費含)
「dolce」シリーズ
約 ¥660,00-
- ・照明器具取替(取付費含)
約 ¥70,000-
- ・キッチン入口引き戸取替え
約 ¥50,000-

工事総額 ¥ 3,365,000-

(諸経費、現場管理費等は含まれません。)

工事日数 約2週間

その他のリフォーム

- ・お風呂、洗面所のリフォーム
- ・1、2階のトイレのリフォーム
- ・食堂、居間の床の張替え
- ・各部屋の床鳴りの補修
- ・お部屋のクロス張替え
- ・バルコニーをFRP防水に変更
- ・網戸の取替え
- ・屋根の葺き替え

Reform one point

リフォームで色んな箇所に手を入れる事に不安がある方もいらっしゃると思います。しかしそれは逆に快適に住もうとするなら20年くらいのサイクルでリフォームが必要になってきます。塗り直し、補強強化などを重ねる事により家は長持ちします。欧米の映画などでは自分たちで部屋のペンキを塗りなおしている場面を見た事がありますよね。そうやって財産でもある家を大事に保っているのです。



Before

リフォーム前は収納棚に収まりきれない物があふれていました。キッチンも古くなり、汚れも取れにくくお手入れに手間もかかっていました。天窗と引き違いの窓がありながら全体的に暗い雰囲気でした。

after

リフォーム後はシステムキッチンの色を明るくしたことによって、トップライトや窓の光をより一層効果的になりました。引き違いの窓の下にあった面台を取り視覚的にスッキリとさせ、圧迫感を無くす事により広い空間での開放感が感じられるようになりました。

お客様のご感想

「このリフォームをしようと思ったきっかけは、最初はお風呂のリフォームでした。やるならキッチンも一緒にと思い工事をお願いしました。新しいキッチンには訪れた人達が集まれるような明るい空間にしたかったので、思い切って明るい色で統一しました。カウンターも対面式にしたおかげでキッチンに隣接する洋間のお客様と会話しながらの作業も可能となり、以前のような「一人ぼっちで台所に立ってる」という意識はなくなりました。今回初めてIHクッキングヒーターを使いましたが、お手入れが楽でキッチンが汚れにくくなりました。使い勝手が良くなったのでよけいな物が増えませんが、スッキリと使う事ができます。部屋が明るくなったのが一番うれしいかな。」

取材者からの一言



取材させて頂いた時はS様の奥様の娘様とお孫さんも遊びに来られていて、色々とお話を伺う事ができました。その中のお話でS様のお孫さんがキッチンのカウンターでご飯を食べたがるとの話に、何故かとてもうれしい気持ちになりました。お忙しい中、取材にご協力いただき有難うございました。(潮見)

実現していますか?暮らしやすい理想の住まい。
KINOKEN NAGOYA は、快適に暮らすお手伝いをします。

100